

平成 29 年 11 月 30 日
国立研究開発法人日本原子力研究開発機構

一連の「もんじゅ」1次冷却系ナトリウム取り出しに関する報道について

昨日（29日）付け毎日新聞に、「ナトリウム回収想定せず もんじゅ設計に「欠陥」、「もんじゅ設計廃炉想定せず ナトリウム搬出困難」を標題とする記事が、さらに、本日（30日）付け福井新聞に「一次系取り出し困難」とする記事が、掲載されました。

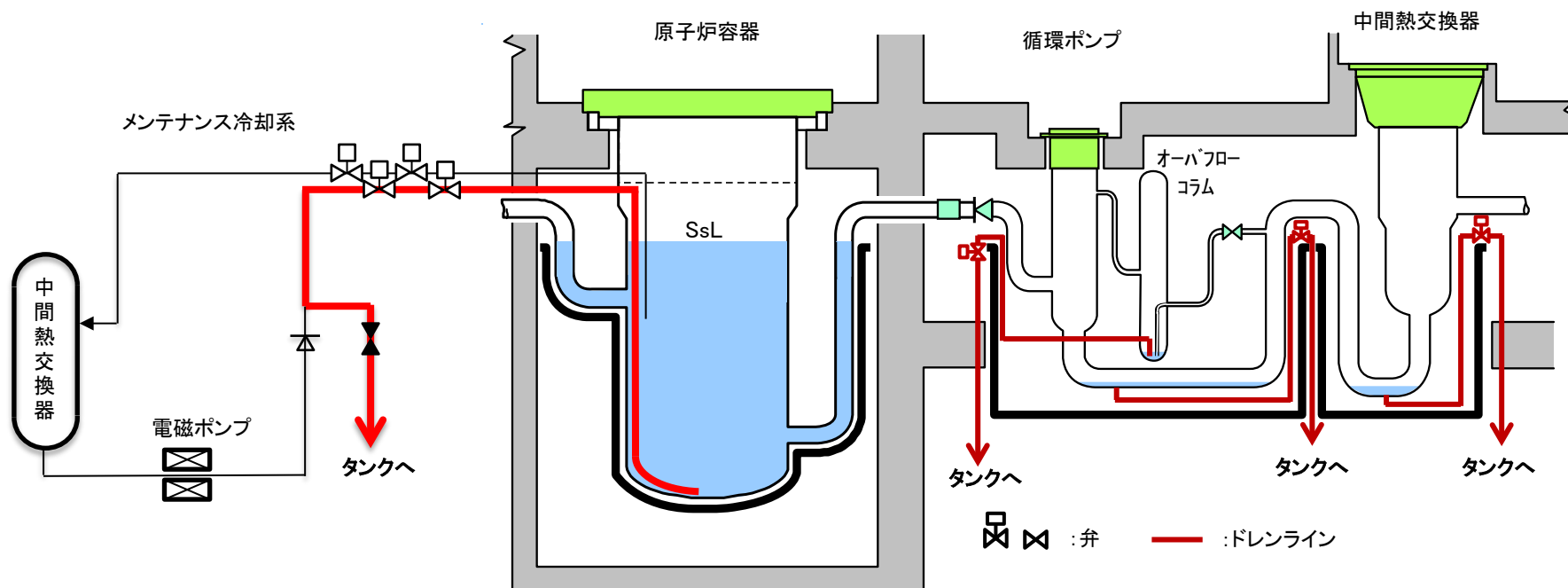
原子力機構としては、「もんじゅ」の廃止措置の際に実施する1次冷却系ナトリウムの抜き取りについては、既存の設備（設備の例：メンテナンス冷却系：別紙参照）および技術を活用すれば技術的に可能であり、今後、具体的な方法などについて詳細に検討し、決定していくこととしています。

本件に関する事実関係の詳細は、以下の「記事解説」をご覧ください。

記事解説URL

http://www.jaea.go.jp/about_JAEA/article/2017/112901.pdf

もんじゅの1次系ナトリウムの抜き取り(イメージ)



- ・ 日常のメンテナンスで行っているナトリウム抜き取り作業では、原子炉容器内にある燃料を冷却するために、原子炉のナトリウム液位をメンテナンス用の液位(SsL)までしか抜かない。
- ・ 既存の設備(メンテナンス冷却系)を活用することなどで、ほぼ底部まで抜くことが技術的に可能。さらに海外炉の技術も参考に底部の残留ナトリウム(約1 m³)を抜くことは可能。